

「システム開発方法論への科学的アプローチ」研究会

2019年度第3回勉強会のご案内

2019年10月23日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2019年11月18日（月）午後2時00分～午後5時

2. 場所：株式会社プライド会議室

■場所

株式会社プライド

東京都千代田五番町12番地1番町会館3F

TEL：03-3239-5431

FAX：03-3239-5432

■アクセス

<https://www.naska.co.jp/corporate/access>

JR四ツ谷、JR市ヶ谷から共に徒歩5分

3階エレベータ前の株式会社インフォメーション・ディベロプメント社総合受付 左手奥「303会議室」です。

3. 発表

今回は、当研究会の「真打ち」登場である。松平和也氏。システム開発方法論を我が国に持ち込み、我が国の情報システムの開発文化に決定的な影響を与えた一人である。情報システムの世界では歴史が顧みられることは少ない。だが歴史の真実に学ぶことで未来を見通す目を養うこともできる。当時、意を決して導入を決め、先導役を果たした企業の話の語り部を任せられる人は松平氏を置いて他にない。システム開発の世界が再び混迷に陥ったと思える今、あらためて原点を確認する学びの機会としたい。ぜひ語り部の声に耳を傾け、大いに議論を楽しみましょう。

講師：(株)プライド顧問、情報システム学会監事 松平和也氏

タイトル「システム開発方法論の上陸当時のリアルな話」

今、自分の手元には、ある製造業の情報システム部長（当時）が下さった自筆レポートがある。それに目を通すと、PRIDEが上陸した当時の我が国の状況が目に浮かぶ。その会社は、かつて経験をしたことのない大胆なシステム開発プロジェクトをすることになったのだが、それをどう手なずけ無事に完成させるかの管理技術で悩んでいた。一軒家を作るのと高層ビルを作るのでは何もかも違う。そこで出会ったのが世界最初の商用システム開発方法論のPRIDEであった。その会社は、小さなプロジェクトで試行してから本プロジェクトに適用するという、それまでの定石を打ち破り、いきなりPRIDEを本プロジェクトに適用した。大英断！だが未踏の世界である。当然のことながら苦闘が待ち受けていたが、強い希望と確信に支えられ前進を続けた。・・・まるでプロジェクトXに出てきそうな話だが、これは実際の話である。

その会社は、なぜ、PRIDEの導入を決め、いきなり本プロジェクトに適用する英断を下

せたのか？ 苦闘の彼らを支え導いたものは何だったのか？ それを振り返るとシステム開発方法論の何たるかが見えてくる。研究会では、システム開発方法論の上陸当時の話を分かち合いながら、皆様と議論していきたいと思えます。

参加費：無料

★研究会の後、懇親会を催します（費用は実費）。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上